

# ICL（眼内コンタクトレンズ）

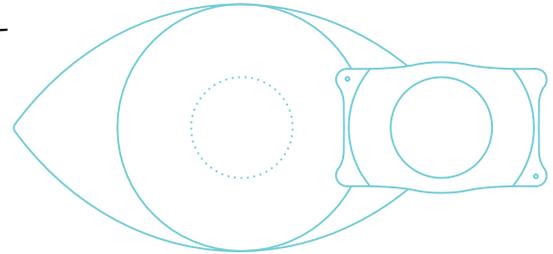
## 角膜を削らない眼内コンタクトレンズ視力矯正

眼内コンタクトレンズ視力矯正とは目の中にレンズを入れる視力矯正です

- ・シャープであざやかな見え方が期待されます
- ・入院不要の手術で、翌日には快適な視力回復が期待されます
- ・ゴロつきや異物感もなく目にやさしい
- ・ドライアイの原因になりにくい
- ・良好な夜間の見え方が期待されます
- ・ずっとお手入れ不要

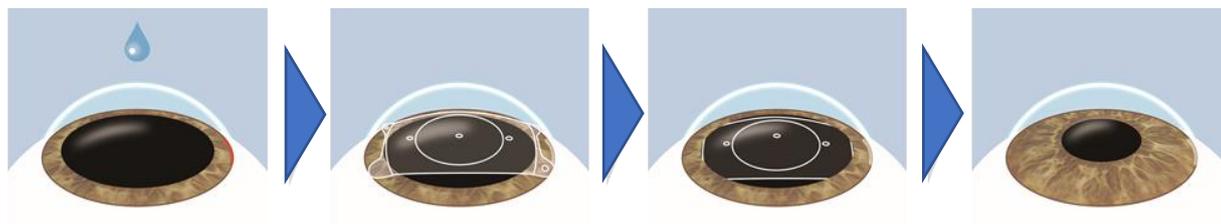
万一の場合でも、レンズを取り出し元の状態に戻すことができます

- ・紫外線をカットする機能もあります



 <p><b>眼内コンタクトレンズ 視力矯正とは</b></p> <p>眼内コンタクトレンズ視力矯正は、角膜を削らずにレンズを目の中に入れて視力を矯正します。インプラントブルコンタクトレンズを略してICLと呼んだり、フェイクIOL(有水晶体眼内レンズ)と呼ばれることもあります。レンズは虹彩の後側と水晶体の前面の間に固定しますので外から見てわかりません。</p>	 <p><b>ずっとお手入れ不要 取り出すことも可能</b></p> <p>目の中のレンズは、くもったり汚れたりしないので、日々のお手入れやメンテナンスは不要です。目の中でゴロつきを感じることもありません。万一、必要が生じた場合はレンズを取り出して元の状態に戻すことができます。</p>
 <p><b>目にやさしい素材</b></p> <p>目の中に入れるレンズは、ソフトコンタクトレンズのような柔らかい無色透明の素材です。紫外線をカットする機能もあります。半永久的に使用可能です。</p>	 <p><b>日帰り手術 回復も早い</b></p> <p>眼内コンタクトレンズ視力矯正は、レンズを専用の器具で目の中に入れます。麻酔は目薬だけですから痛くはありません。また傷口が約3ミリと小さいので回復が早く日帰りの手術が可能です。</p>
 <p><b>角膜を削らない 大きな光学系</b></p> <p>眼内コンタクトレンズ視力矯正なら、角膜を削らないので角膜の形がほとんど変化しません。また光学系が大きく確保できるため、夜間に問題となるハロー・グレアの抑制が期待されます。</p>	 <p><b>誰でも受けられますか？</b></p> <p>他の目の病気（緑内障や白内障など）や全身疾患のない近視や乱視の方が対象になります。強度の近視や角膜の薄い場合も対象になります。ただし目の形状や状態、他の疾患をお持ちの場合は、適応とならない場合があります。詳しくは医師の検査を受けて下さい。</p>
 <p><b>万一の場合、 元の状態に戻せます</b></p> <p>レンズは、取り出すことができます。</p>	 <p><b>眼内コンタクトレンズ視力矯正 の歴史</b></p> <p>1978年から開発が始まり、現在の眼内コンタクトレンズ視力矯正は1997年に欧州、2005年に米国で承認されました。国内では2003年から治験が始まり2010年に医療機器として承認されています。</p>

## 手術の概要

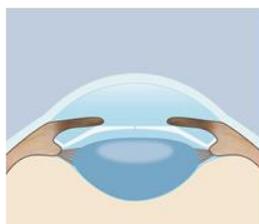


① 瞳孔を拡大させ、点眼麻酔をして、角膜の縁を約3ミリ切開します。

② 切開した部分からレンズを目の中に入れます。

③ レンズを虹彩と水晶体の間に固定します。

④ 瞳孔を縮瞳させ手術は終了です。



⑤ 院内でしばらくお休み頂いた後、目の状態を検査し、問題がなければ帰宅頂きます。術後は医師の指示に従って点眼薬、内服薬をご利用下さい。

## 手術後の主な症状

### 見え方について

視力の変動・・・術後1週間ほどは、炎症などで視力が変動することがあります。

ハロー・グレア光の輪・・・夜間や暗い中で光を見た時に、眩しさを感じる場合があります。通常は徐々に気にならなくなりますがこの症状が残る場合はご相談下さい。

## 一般的な症状（帰宅～翌日）

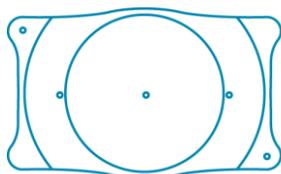
異物感、充血、かすみ・・・傷口が治癒し、炎症が治まることで、時間とともに自然に改善します。

## 手術後の注意事項

手術後一定の期間、日常生活の以下のような項目について制限があります。

・洗髪・洗顔 ・シャワー・入浴 ・化粧・アイメイク ・飲酒・たばこ ・運転 ・運動 ・プール

## 手術費用



両目 600,000 円（税別）

片目 300,000 円（税別）

※通常レンズ（近視のみ）と乱視矯正レンズの値段は同額になります。

ご不明な場合は、小沢眼科内科病院附属五軒町診療所へお問い合わせください。

☎ 029-224-5722 受付時間 8:30~17:30（月~土）

医療法人 小沢眼科内科病院附属五軒町診療所

## Q & A

Q. 治療を受ける制限はありますか？

A. 目の形や病気、全身疾患などによって治療の対象とならない場合があります。事前に詳しい検査を行い、目の形、状態、生活習慣などを総合的に検討して治療が可能かを専門の医師が診断を致します。また正確な検査のためにコンタクトレンズ(特にハードレンズ)は一定の期間装用を中止していただく必要があります。妊娠中、授乳中は視力が不安定になることがあり近視矯正手術はできません。

Q. 手術は痛いですか？

A. 目薬タイプの点眼麻酔をしますので痛みはほとんどありません。

Q. 眼内コンタクトレンズを入れていることは他人に気が付かれますか？

A. 虹彩の後ろに挿入するので、外からは見えません。

Q. 「ハロー」・「グレア」とはなんですか？

A. 暗いところで明るいライトなどを見た時に光の周りににじんだ輪が見える現象をハロー(光輪症)といい、ギラギラと光ってとても眩しい症状をグレアといいます。症状の度合いや期間には個人差がありますが、治療後数ヶ月で自然と気にならなくなることが一般的です。

Q. 費用は公的医療保険の対象ですか？

A. 公的医療保険の対象ではありません。ご自身で加入している民間保険の給付については、「有水晶体眼内レンズ挿入術」が対象かどうか、加入保険会社へお問い合わせ下さい。

Q. 老眼も治りますか？

A. 40歳頃から加齢に伴う調節力の衰えにより「手元が見にくい」と言った老眼の症状が出始めます。老眼は遠近のピントを合わせる能力が衰える症状です。眼内コンタクトレンズ治療は近視や乱視など屈折の矯正を行います。老眼の治療ではありません。老眼により手元が見にくい場合は近用眼鏡(老眼鏡)等を適宜使用して下さい。